

小学校第3学年 道徳科 学習構想案（例）

時間 令和〇年 〇月 〇日（〇）第〇校時
 場所 3年〇組教室
 指導者 〇〇 〇〇

1 学習構想

主題名	自分のよいところをのぼす（内容項目A(4)個性の伸長）	
ねらいと教材	(1)ねらい 絵を学ぶことを決心し、努力を続け自分を伸ばした順七の姿について話し合ったり、友達からのメッセージを読んだりする活動を通して、自分の特徴を知り、よいところを伸ばしていこうとする心情を育てる。 (2)教材名 「ふるさとをえがく」 出典： くまもとの心 小学校3・4年(熊本県教育委員会)	
評価の視点	評価の視点1	評価の視点2
	順七のよさやよさを伸ばした姿を多面的・多角的に考えている。	自分の特徴に気付き、自分のよさを伸ばしていこうと考えている。
目指す児童の姿		
絵を学ぶことを決心し、努力を続けた田代順七の生き方を通して、自分の特徴に目を向け、長所を伸ばしていこうとする児童		
主題に迫る学習課題（本時）	本主題で働かせる見方・考え方	
自分をのぼすためには、 どうしたらよいのだろう。	子供の頃は病気がちだった順七が、自分の特徴に気付き、努力し続け自分を伸ばした姿について考えたり、友達と話し合ったりすることを通して、自分の特徴に気付き、長所を伸ばしていこうと考えを深めていくこと。	
内容項目相互の関連的・発展的な指導，各教科等や体験活動等との関連的指導		
道徳科		
国語科 「もっと知りたいともだちのこと」 ○自分の思いや考えを話したり、友達の話を受け入れながら友達を尊重する姿勢を大切にする。	「百羽のツル」 （出典：新しいどうとく3 東京書籍） D（21）感動，畏敬の念	図工科 「み近なしぜんの色・色」 ○お互いを見方を交流することで、互いの感じ方や見方の違いやよさに気付き、認め合う。
特別活動 「キャリアパスポート」 ○自分の目標を決め、自身の変容や成長を振り返り、学習や生活の意欲につなげる。 「当番・係活動」 ○友達と話し合い、協力してよりよい活動をする。	「ふるさとをえがく」（本時） A（4）個性の伸長 主題名 自分のよいところをのぼす 絵を学ぶことを決心し、努力を続け自分を伸ばした順七の姿について話し合ったり、友達からのメッセージを読んだりする活動を通して、自分の特徴を知り、よいところを伸ばしていこうとする心情を育てる。	外国語活動 「I like blue」 ○自分の好きな色を伝え合い、相互理解を深める。
	「ーりん車にのれた」 （出典：新しいどうとく3 東京書籍） A（5） 希望と勇気，努力と強い意志	帰りの会 「友達のいいところ」 ○学級の友達のよいところを伝え合い、認め合う。

2 主題設定の理由

学習指導要領における該当箇所(ねらいや指導内容についての教師の捉え方)		
<p>本主題は、第3学年及び第4学年の内容項目A(4)「個性の伸長」を基にしたものである。</p> <p>個性とは、個人特有の性格や特徴である。人は誰でもその人ならではのよさをもっている。しかし、自分のよさは自分自身で分からないことが少なくない。他人から指摘されて気付いたり実感したりすることも多い。だからこそ、友達と話し合う中で自分の特徴を多面的に捉え、長所を伸ばしていこうとすることは大切であるとする。自分のよさを個性として伸ばしていくことは、将来的にわたって、自己実現を果たすことにつながるものである。</p>		
本主題における系統		
<p>小学校第1学年及び第2学年 内容項目A(4)個性の伸長 自分の特徴に気付くこと。</p> <p>教材名「ありがとう、りょうたさん」 (出典：新しいどうとく2 東京書籍) 主題名「わたしのよさ」</p>	<p>小学校第3学年及び第4学年 内容項目A(4)個性の伸長 自分の特徴に気づき、長所を伸ばすこと。</p> <p>教材名「ふるさとをえがく」 主題名「自分のよいところをのびす」</p>	<p>小学校第5学年及び第6学年 内容項目A(4)個性の伸長 自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばすこと。</p> <p>教材名「感動したこと、それがぼくの作品～パブロ・ピカソ～」 (出典：新しい道徳5 東京書籍) 主題名「自分の特徴を伸ばす」</p>
児童の実態(児童の学習状況や実態と教師の願い)		
<p>本学級の児童数(名)</p> <p>■主題に関する意識の状況</p> <p>(1) 得意なことや好きなことがありますか。 「ある」… 人 「ない」… 人 「わからない」… 人</p> <p>(2) それはどんなことですか。</p> <p>(3) 自分にはいいところがありますか。 「ある」… 人 「ない」… 人 「わからない」… 人 「ある」理由… 「ない・わからない」理由…</p> <p>(4) 自分のことが好きですか。 「好き」… 人 「好きではない」… 人 「どちらでもない」… 人</p> <p>■考察</p>		
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block; background-color: #f8d7da;"> <p>項目のみ記載しています。</p> </div>		
教材の価値(使用する教材の特質や具体的な活用方法)		
<p>教材「ふるさとをえがく」は、少年時代は病気がちであった田代順七が、担任の先生の言葉によって絵を描くことが好きだという自分の特徴に気づき、画家を目指して努力した実話である。順七が自分の特徴に気づき、自分のよさを伸ばした姿を多面的・多角的に考えることを通して、個性の伸長について考えることができる教材である。</p> <p>本教材を活用した授業においては、絵を学ぼうと決心し、努力を続け、自分を伸ばした順七の姿について話し合ったり、友達からのメッセージを読んだりする活動を通して、児童の多様な価値観を引き出しながら自分の特徴を知り、よいところを伸ばしていこうとする心情を育てていきたい。</p>		

3 指導に当たっての留意点

【教材の効果的な活用】

- 授業の導入場面では、田代順七の写真や絵、初版のくまもとの心の表紙を提示し、教材への興味関心を高めたい。

【思考・表現の手立ての工夫】

- 板書と同じ型のワークシートにまとめることで、田代順七さんと自分を重ねながら自分の特徴を見

つめることができるようにしたい。

- 中心発問「田代順七さんはどうして自分を伸ばすことができたのだろう」では、対話ツールを活用し、友達と交流することを通して考えを深める時間を十分に確保したい。

【多様な感じ方や考え方と出会い、交流できる場の充実】

- 意図的指名、補助発問、切り替えしの発問等で人間理解にも迫ることができるようにしたい。
- 終末では、田代順七さんについて考えたことや友達からのメッセージを基に、自分のよさに気づき、更に伸ばしていこうという気持ちをもてるようにしたい。

【励まし、伸ばす評価の工夫】

- 友達からのメッセージを読むことで、自分のよさに気づき、児童が自信をつけ、自己肯定感を高めることができるようにしたい。
- 終末で事前のアンケート結果を提示することで、考えの深まりや自分たちの変容に気付くことができるようにしたい。

4 本時の学習

(1) ねらい

絵を学ぶことを決心し、努力を続け自分を伸ばした順七の姿について話し合ったり、友達からのメッセージを読んだりする活動を通して、自分の特徴を知り、よいところを伸ばしていこうとする心情を育てる。

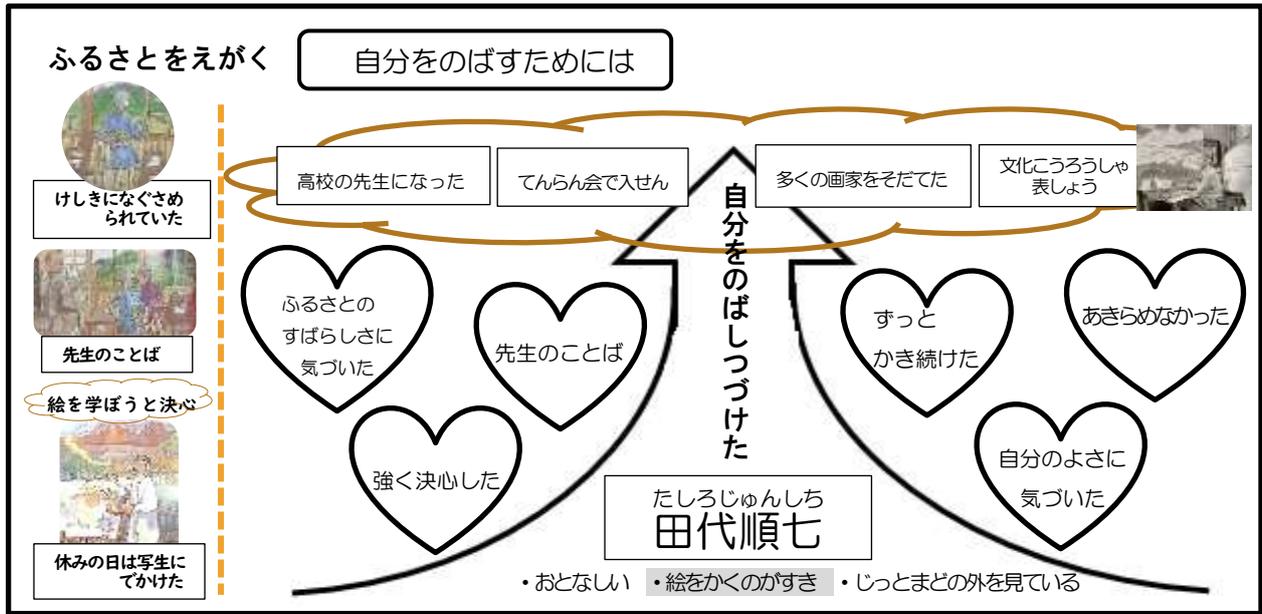
(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図, 内容, 方法等)
導入	5分	1 本時の学習課題をつかむ。 ① これは、誰でしょう。 (「誰でしょうクイズ」をし、特徴について考える。) ◇好きなことも苦手なこともあるな。 ② 田代順七さんを紹介します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【学習課題】 どうしたら自分のよさをのばすことができるだろう </div>	○教師等の特徴を提示した「誰でしょうクイズ」をすることで、誰にでも長所や短所があることに気付かせる。 ○田代順七さんの絵（前回のくまもとの心の表紙等）を見ることで、興味関心を高めさせる。
展開	10分 15分	2 教材を読み、道徳的価値について考える。 ① 田代順七さんはどんな子供でしたか。 ◇おとなしい。 ◇絵を描くのが好き。 ◇景色をずっと見ている。 ② 田代順七さんは大人になって、どんなことを達成していききましたか。 ◇高校の美術の先生になった。 ◇展覧会で入選した。 ◇多くの画家を育てた。 ◇文化功労者として表彰された。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【中心発問】 ③ 田代順七さんが自分を伸ばすことができたのはなぜでしょう。 ワークシート1 ◇自分のよさに気付いたから。 ◇絵をずっと描き続けたから。 ◇あきらめなかったから。 ◇先生の言葉をずっと覚えていたから。 ◇ふるさとを大切に思っていたから。 ◇一生懸命勉強したから。 ◇先生やふるさとに恩返しがしたかったから。 </div>	○順七のよさはどこか見つけながら動画を視聴するように視点を事前に伝える。 ○順七の子供の頃の様子をおさえ、順七の特徴や心情に注目することができるようにし、順七にも長所も短所もあったことに気付かせる。 ○自分の特徴（絵を描くのが好き）を生かし、自分を伸ばしたことに気付かせる。 （個に応じた支援） ○友達との交流の場面では、考えを深めることができるように、対話ツールを活用する。 ○多面的・多角的に考えたり、人間の弱さ（人間理解）を感じたりできるように、児童の発言内容を受けて問い返しや補助発問を行う。 ・自分だったら休みの日も描き続けることができますか？ ・誰かに言われことを続けることができますか？ ・どうして、描き続けることができたのでしょうか？ ○好きなことがあることも、自分のよさであることに気付かせる。
終末	15分	3 自分自身を振り返る。 ① 友達からのメッセージを読みましょう。 (メッセージを読み、自分の特徴に気付く。) ◇よさを教えてもらって、うれしい。 ② 自分のよさを伸ばすために何を続けていきたいか書きましょう。 ワークシート2 ◇好きなことを続けて練習をしたい。 ◇あきらめずにチャレンジを続けたい。 ③ 今日の学習を振り返りましょう。 ◇自分ではいいところと思っていなかったことも自分のよさだとわかった。 ◇自分のよさを大切にしていきたいと思えるようになった。 4 教師の説話を聞く。	○事前に準備した友達からのメッセージを読み、自分のよさに気付かせる。 ○板書と同じ型のワークシートに①自分の名前、②自分のよさ、③自分のよさを伸ばすために続けたいか手順を示し、書かせる。 ○田代順七さんと自分を重ね合わせながら自分のよさを伸ばしていこうという思いをもたせる。 ○アンケート結果にふれ、自分たちの変容に気付かせる。 ○詩や身近な人の話等を紹介し、意欲につなげる。

【評価の視点1】 順七のよさやよさを伸ばした姿を多面的・多角的に考えている。（方法：発言・ワークシート）

【評価の視点2】 自分の特徴に気付き、自分のよさを伸ばしていこうと考えている。（方法：発言・ノート）

【板書計画】



【ICT活用計画】

例：教師による教材提示の計画, ICTを活用した発表, まとめ等による考えの共有の計画等

導入の場面【電子黒板】

田代順七の写真や絵, 前回のくまもとの心の表紙を提示し, 興味関心を高める。



終末の場面【電子黒板】

アンケート結果を提示。学習前と学習後の自分たちの変容に気付かせる。



「ある」の理由

- ・人に優しくできる
- ・勉強ができる

「わからない」

- ・見当たらない

「ない」

- ・自信がない

ふるさとをえがく①

ねん
年

くみ
組

ばん
番

名前

田代順七さんが自分をのばすことができたのはなぜでしょう。(♡の中に書きましょう)

高校の先生になった

てんらん会で入せん

多くの画家をそだてた

文化こうろうしゃ表しよう



たしろじゅんしち
田代順七

おとなしい

絵をかくのがすき

じっとまどの外を見ている



ふるさとをえがく②

ねん
年

くみ
組

ばん
番

名前

どんな人になりたいですか？

自分のよさをのばすために
何を続けたいですか？

自分の名前

じぶんのよさは？

◆ふりかえり